
12の世界と異世界の管理人

桜音

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

12の世界と異世界の管理人

【Nコード】

N8730X

【作者名】

桜音

【あらすじ】

軽い気持ちで受け持つことになった世界管理人。

俺はただ一度魔法を使ってみたかっただけに……。

アリエスの世界では勇者に仕立て上げられるは、レオの世界では武道大会に出場する羽目になるはもう大変！

等身大の杖（ときどき剣？）を振り回しながら色々な世界を廻るお話です。

みんなは、人は死んだらどこへ辿り着くと思う？
天国？地獄？霊界？

答えは、この中には存在しない。
何故ならば……………

「ちよつとおく聞いてますかあ〜」

そう。死んだらやたら白い空間に居たのだ。
そして、自称神（笑）に出会ったのだ……………

「現実頭皮しないの〜」

「漢字が違う!?!」

頭いかれてるのか、コイツ。

「いかれてなんかないもん!」

うわあ、人の心覗いたよ。

「すごいでしょ!」

「んで、此処はドコなんだ?」

俺は、自慢げな神（笑）を華麗にスルーし質問を投げかけてみた。

「うう……………此処は私の空間なの……………貴方にやってほしい事が有って

え……」

よっぽどスルーされたのが嫌だったのか涙声になっていた。
それにしても……

「やってほしい事ってなんだ？」

「全ての世界を管理してほしいの……」

「はあああつ！？……ゴホツゴホツ」

驚きからついむせてしまった。かなり苦しい。

「大丈夫……？」

「これが大丈夫にゴホツ見えたらお前ゴホツの目は飾りゴホツ物だ
ぜ……」

やばい、なんかヒューヒュー言ってる。久々に喘息きたか？

「治癒“ヒール”」

瞬時俺の体を緑色の光が包み込んだ。

「あれっ、苦しく無い……？」

「今は、治癒魔法って言うんだけれど……。」

魔法！？そんなのが有るのか！

「うん……まあその説明はまた今度にしてさあ……管理人、してくれん？」

どうしよう、と言うか魔法とか一度使ってみたかったんだよねあ。

「まあ、いいさ。やってやるよ。」

軽い気持ちで答えてしまった。

これが俺のチートな旅の始まりだとは知らずに……。

1 (後書き)

新連載!

モノ有り更新しないで始めちゃいましたWWW

「有難う！じゃあ転生後情報登録機使って姿、能力、添付才能決めてね。」

フオオオオ……と音を立てて消えて行った……名前知らんわ。俺。

>私の名前はカトレアだからねえ……<

ふむ、カトレアか。覚えたぞ。

そしてカトレアが去った後に残ったのは、DSっぽいような小型機械。

恐らくコレが「転生後情報登録機」というやつなのだろう。

さっそくボタンを操作しようか。

ん？良く見ると端っこの方に残り100000Pと書いてある。ふうむ、どうやら限界があるらしいな。

これは時間が掛かるぞ。と思いつつ、指を動かすのだった。

3日後

「で、出来た……」

現在俺は、心身共に疲れ果てていた。

だが、そのかい有ってか転生後の俺は凄かった。

容姿は、勿論イケメンで能力は魔力無限、更に俺は生前拳銃と刀術を習っていて滅茶苦茶強い。

添付才能、これは取り敢えず凄過ぎるの一言に限った。例えば……。

“高身分制度”これは、生まれる両親が貴族（伯爵、公爵）か王族という才能？だ。

“瞬間記憶”これは見た物を一瞬で覚える才能だ。

まあ、それを含め約15以上の添付才能が有ったのだが全て採用した。

途中、「Pは^{ポイント}はまだまだ残ってるよ？」とカトレアに聞かれたので「魔法の才能にチートの8や9を……」と喋っておいた。

2 (後書き)

次回は、世界設定です。

3 (前書き)

明日と明後日お休みします！

> うわっ！？こんなに能力付けるの？貴方、天才通り越して化け物よ？<

開口一番にカトレアにこう言われた俺。……………酷い。

> ごっごめん、でも本気と書いてマジと読むぐらい凄いよ？<

気にしたら終わりさ、きつと。

> ……ハア、もういいよ。本当に貴方と居ると疲れるわね…………<

そりゃどーも。

> 褒めてないし！と、言うかそろそろ世界について説明したいんだけど？<

ああ、頼む。

> ()というか、この人何時の間にか念話覚えたの？！…………もうヤダよ()えつとね…………<

はい、割愛

そして説明

?この宇宙には地球の他に12の世界が存在する。

?その12つ世界を順々に転生して解れ(ほつれ)を解く(ほどく)

のが管理人の役目……らしい。
?ちなみに、12つの世界には発展している物が有るんだとか。

アリエス 魔法
タウラス 文科系
ジェミニ 勉学
キャンサー 科学
レオ 剣
バルゴ 武術
リブラ 音楽
スコルピオ 芸術
サジタリアス 料理
カプリコーン ファッション
アクエリアス 魔法と武術
ピスケス 本

更に地球は、この12つの世界には含まれていないんだとか。
つまり、異なる世界「異世界」なんだと。これにはちょっと驚いた。

>この場合、アクエリアスに転生するのが妥当だよね……<
んにゃ、そろそろやっちまえよ

>……?じゃあ面倒だしアクエリアスに転生させるねー。<
すると、俺はいきなり出てきた穴らしき物に吸い込まれていった。

>頑張つてねー、篠原菜花君……っと、吃驚させないでよ!……な
……の?……えええええ!?!いま行く、ちよっと待つてて!<

プツン……

あの男が居た所には、
一輪の星形菜の花が咲いていた……

3 (後書き)

とりあえず、プロローグ終わった……

所変わってここは、アクエリアスのアストロロジカル王国。

———
ここは、ドコだ？

気付けば俺は水？の中に浮いていた。多分お腹の中だろう。

それにしてもポカポカしてて気持ち良いなあ……………。

ズゴゴゴゴ…

するといきなり水が抜けて来た。

(ええ！？いきなり出産ですか！？速すぎだろう！)

「おんぎゃあおんぎゃあ」

「王妃様、生まれましたよ！元気な男の子です！」

「まあ、可愛いらしいこと…」

こうして、アストロロジカル王国第二王位継承者カロン？クルースン？ヴィ？アストロロジカが誕生したのだった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8730x/>

12の世界と異世界の管理人

2011年10月28日06時02分発行